

基本計画に掲載する（検討中）指標・目標値一覧

基本計画に掲載する（検討中）指標・目標値一覧

ルート ベース	まちのイメージ	吹田市			
		指標名	目標値の考え方	平成23年度	目標値 平成32年度
R -1	平和の尊さが実感 できています	平和祈念資料館の年間利用者数	資料館に来館することにより、より多くの人に平和の尊さを認識し、後世に伝えてもらいたいため、利用者増を目標値として設定した。	3,272人	↗
		非核平和の貢献に関する満足度 【市民意識調査】	行政や市民による啓発活動に自らが参加し、得るものがあったと思うなどの満足度を平均評価点として指数化しその向上を目標にし、指標とした。	54.9点 (平成22年度)	↗
R -2	一人ひとりの命や 個性を大切に する人権感覚が 育まれています	人権意識が向上していると思う市民の割合 【市民意識調査】	人権意識の向上を測る指標として設定した。	22.2% (平成22年度)	↗
		人権意識の向上のための施策の満足度 【市民意識調査】	人権意識の向上のための啓発事業などに参加することにより、施策について満足と思う人の割合をその効果判断の指標として設定した。	53.0点 (平成22年度)	↗
		人権啓発推進協議会委員の人数	人権啓発を行うとする市民の数を市民活動活性化度合いを測る指標として設定した。	1,709人	↗
R -3	DV被害や女性に 対する暴力が ない男女共同 参画社会に なっています	男女が共に個性や能力を発揮できる社会になってきていると思う市民の割合 【市民意識調査】	固定的な性別役割分担意識の解消に向けた指標とする。	27.0% (平成22年度)	↗
		審議会等委員における女性の割合の増加	市の政策・方針決定過程における女性の参画状況を表す指標とする。	30.5%	↗
		DV防止法の認知度	女性に対する暴力の予防と根絶のための基盤づくりに向けた指標とする。	73.8% (平成22年度)	↗
R -4	多彩な文化が 身近に感じ られるまち になっています	文化会館、市民ギャラリー等で行われる文化・芸術行事に参加したことがある市民の割合 【市民意識調査】	市民の文化・芸術に対する関心度を測る指標として設定	26.6% (平成22年度)	↗
		大学図書館の市民利用登録者数	市民による大学・研究機関の活用状況を測る指標として設定	341人	↗
		芸術・文化を親しめる環境の満足度 【市民意識調査】	環境づくりの進捗状況を測る指標として設定	51.3点 (平成22年度)	↗
R -5	国や地域の人の 交流が育ま れています	コミュニティ通訳ボランティア登録者数	市民主体の国際交流支援を測る指標として設定	13人	70人
		国際交流活動の満足度 【市民意識調査】	国際交流活動が市民ニーズに合ったものかを測る指標として設定	49.4点 (平成22年度)	↗
		特色のある文化や歴史を持つまちとの交流の満足度 【市民意識調査】	市民ニーズを満たす交流が行われているかを測る指標として設定	50.2点 (平成22年度)	↗

基本計画に掲載する（検討中）指標・目標値一覧

ルート ベース	まちのイメージ	吹田市			
		指標名	目標値の考え方	平成23年度	目標値 平成32年度
R -1	高齢者が健やかに 安心安全に暮ら しています	高齢者の生きがいづくりの推進の満足度 【市民意識調査】	高齢者の生きがいづくりの推進の施策の市民満足度の向上を目標として、満足度の平均評価点を指標に設定	52.1点 (平成22年度)	→
		地域包括支援センターの認知度 (高齢の計画に係る実態調査)	高齢者の地域における健康・介護・生活支援の観点から周知が必要であるため認知度を指標に設定	31.7% (平成22年度)	50%
		要介護認定を受けている高齢者の割合	目標値は平成26年度の推計値を設定し、その割合を維持すること 目標としています。	18.41%	19.23%
R -2	障がい者が地域で 安心して生活し、 様々な分野の活動 に参加しています	障がい者を支える福祉・保健・医療サービスの満足度評価点 【市民意識調査】	障がい者を支える福祉・保健・医療サービスの満足度の向上を目標として、満足度の平均評価点を指標に設定	52.3点 (平成22年度)	↗
		グループホーム等利用者数	障がいのある人が、地域で自立した生活を送れているかを測るため、指標として設定	219人	460人以上
		障がい者雇用の雇用率	民間企業の法定雇用率を目標値に設定	1.80%	2.0%
R -3	住み慣れた地域で ともに支え合いな がら暮らしています	住み慣れた地域での生活を支える地域福祉推進の満足度 【市民意識調査】	住み慣れた地域での生活を支える地域福祉推進の満足度の向上を目標として、満足度の平均評価点を指標に選定	52.3点 (平成22年度)	↗
		小地域ネットワーク活動の延べ参加人数(地区福祉委員含む)	市内に33ある地区福祉委員会が行う「いきいきサロン」「子育てサロン」等の小地域ネットワーク活動をさらに推進し、延べ110,000人以上の参加を目指す。	86,163人	110,000人以上
		成年後見制度等の延べ相談件数	認知症高齢者や一人暮らし高齢者等の増加に伴い、成年後見制度等に関する相談が増加している。	197件	↗
R -4	生涯にわたって心 身ともに健康に暮 らしています	吹田市国保健診(40歳から74歳)及び30歳代健診年間受診者数	吹田市特定健康診査等実施計画で設定している健診実施率の目標値(平成25年度被保険者見込数の60.0%)をめざす	32,965人	53,000人以上
		病院・医院・救急医療などの医療環境に関する満足度 【市民意識調査】	平成22年度市民意識調査の平均評価点からの増加を目標とする	55.5点 (平成22年度)	↗

三田市			流山市			鶴ヶ島市		
指標名	現況値	目標値 H28	指標名	現状 H20	目標 H31	指標名	現況値 H22	目標値 H27
生きがいがある高齢者の割合	87.4% (H22)	90%	生きがいを感じる高齢者の割合	80.0%	84.5%	地域包括支援センター(1)の相談件数	980件	1,100件
高齢者大学・大学院学生数	597人 (H24)	増加	要介護(要支援)認定者を除く高齢者の割合	86.3%	85.2%	認知症サポーター数	1,036人 (H22.9.30)	1,500人
老人クラブ連合会会員数	4,759人 (H24)	現状維持	市内がバリアフリーだと感じる市民(65歳以上)の割合	51.2% (H21)	56.2%	要介護(要支援)認定者(第1号)の割合()	11% (H22.9.30)	11.0% 以下
シルバー人材センター会員登録者数	1,051人 (H24)	1,150人	福祉サービスの情報提供に満足している市民(65歳以上)の割合	55.8% (H21)	60.8%	認定者数に対する居宅介護サービス受給者の割合	62.5% (H22.9.30)	62.5%
65歳以上人口に占める要介護・要支援認定者の割合	16.7% (H23)	16.6%	市の福祉サービスに満足している市民の割合	21.1% (H21)	26.1%	認定者数に対する施設介護サービス受給者の割合	17.2% (H22.9.30)	17.2%
デイサービス及びショートステイの事業所数	25箇所 (H23)	増加	市の福祉サービスに満足している市民(65歳以上)の割合	33.3% (H21)	38.3%	老人クラブ加入者数	1,363人 (H22.6.1)	1,500人
相談相手としての地域包括支援センター・高齢者支援センターを知っている人又は利用したことがある人の割合	55.7% (H23)	70.7%				シルバー人材センター会員数	620人 (H22.9.30)	750人
						高齢者サロン数(市社会福祉協議会)	13か所 (H22.9.30)	15か所
相談支援事業所の数	3箇所 (H23)	8箇所	福祉サービスを受けている障害者の割合	21.1%	25.5%	障害者等相談支援事業利用件数	534件	650件
日中活動系サービス提供数	33 (H23)	36	市内企業における障害者雇用率	1.2%	1.8%			
グループホーム・ケアホームの箇所数	11箇所 (H23)	18箇所	就労支援施設を利用している障害者数	81人	181人			
			市民が参加できるまちづくりの福祉ができていると思う市民の割合	77.5%	88.0%	ボランティア登録団体数(市社会福祉協議会)	70団体	75団体
			福祉ボランティア数	2,032人	2,550人			
			各種福祉活動の参加市民の割合	7.2%	12.7%			
40～64歳の特定健診の受診率	24.4% (H22)	30%	健康の維持、増進のために日ごろ何か行っている市民の割合	92.0%	98.0%	市民意識調査における「健康づくりへの支援」に対する満足度	9.9%	20%
睡眠による休養を十分に取れていない人の割合	32.1% (H22)	30%	がん・心疾患・脳血管疾患による死亡率	58.6%	56.0%	健康寿命(4)	男性 16.32年 女性 19.35年	男性 17.0年 女性 20.0年
心の健康づくりに関する研修会等の実施回数	2回 (H23)	増加				国民健康保険特定保健指導率	20.0%	45.0%
栄養バランスに配慮した食事をとっている人の割合	50.0% (H23)	60%				市民意識調査における「医療・救急体制の整備」に対する満足度	27.7%	40.0%
かかりつけ医を持つ世帯の割合	57.3% (H23)	67%				在宅当番医の協力医療機関数	25	26
市民病院の地域連携度・紹介率	37.3% (H22)	45%						
市民病院の地域連携度・逆紹介率	50.1% (H22)	65%						
市民病院の病床稼働率	79.5% (H23)	88%						
応急手当普及員数(養成実績数)	80人 (H22)	160人						

三田市			流山市			鶴ヶ島市		
指標名	現況値	目標値 H28	指標名	現状 H20	目標 H31	指標名	現況値 H22	目標値 H27
3歳児健康診査受診率	96.3% (H22)	97%	保育所の待機児童数	48人	0人	乳幼児健康診査受診率の埼玉県内の平均値を上回る診査数	0 / 3	3月3日
多世代交流館子育て交流ひろば・駅前子育て交流ひろば・地域子育て支援センターの利用者数	95,628人 (H23)	108,000人	流山市は子育てがしやすいまちだと思ふ保護者の割合	43.0%	70.0%	赤ちゃんの駅の整備数	49か所 (H22.7.31)	59か所
子育て相談、情報発信等市の子育て支援施策に関する5項目についての満足度の平均値	-	増加	子育てに係る不安や負担が軽減されていると感じる保護者の割合	48.0%	80.0%	地域子育て支援拠点事業利用者数	11,832人	15,000人
						保育所の待機児童数	15人 (H.21.4.1)	0人 (H.27.4.1)
						入室児童数の適正規模学童保育室数	4か所 / 10か所 (H.22.4.1)	12か所 / 12か所
						母子自立支援プログラム(1)による支援者数	34人	50人
						母子自立支援プログラムによる就労開始者数	17人	20人
「読書が好き」と答える子どもの割合	小6 9.2% 中3 62.8% (H22)	小6 73.0% 中3 68.0%	小中学校図書館の蔵書数が学校図書館標準を達成している学校の割合	60.9%	100%	全国学力学習状況調査において、全国と県の平均を上回る項目数小6:国語(A・B)算数(A・B)中3:国語(A・B)数学(A・B)	0 / 8項目	8 / 8項目
「人の役に立つ人間になりたい」と答える子どもの割合	小6 95.3% 中3 90.9% (H22)	小6 96.0% 中3 93.0%	学校サポートボランティアの登録割合(登録人数/学級数)	93.6%	100%	特別支援学級の設置校数	12校	13校
「運動・スポーツをすることが好き」と答える子どもの割合	小5 79.0% 中2 62.5% (H23)	小5 90.0% 中2 84.0%				社会体験チャレンジ(2)協力企業数	90	100
						教職員向け研修講座受講者の内容評価(5段階評価の平均値)	4.7 / 5.0	5.0 / 5.0
						学校評価項目における満足度	82.4%	87.4%
						学校評価結果を学校のホームページに掲載した学校数	6校	13校
						「規律ある態度」8割以上を達成した項目数(すべての児童生徒を対象とする質問紙調査)	75 / 108項目	108 / 108項目
						不登校児童・生徒数の割合	小 0.2% 中 2.7%	小 0.1%以下 中 1.5%以下
						新体カテスト(全児童生徒対象)の県平均を上回る項目割合	53.0%	60.0%
						給食1人1日あたりの残菜量(可燃処理残菜量を児童生徒数で除した値)	47.3g	46.1g
						屋内運動場(S56年以前建築)の耐震化校数		8校
						「小1プロブレム」のある小学校数	4校	0校
						学校応援団ボランティア人数	1,335名	1,600名

基本計画に掲載する（検討中）指標・目標値一覧

ルート ベース	まちのイメージ	吹田市			
		指標名	目標値の考え方	平成23年度	目標値 平成32年度
R -4	子どもや青少年が安心して安全に、出会いや交流を通じて成長しています	青少年の育成に関する満足度 【市民意識調査】	青少年施策に関する満足度を向上させるために、市民意識調査における満足度の平均評価点を指標として設定	49.4点 (平成22年度)	↗
		青少年関連施設の年間利用者数	地域における青少年の育成活動や青少年の活動状況を測る指標として設定	年間 276,864 人	年間約 300,000 人
R -5	「いつでも」、「どこでも」、「たれでも」生涯を通じて、主体的に学んでいます	生涯学習に関する環境の満足度 【市民意識調査】	生涯学習に関する環境の満足の向上を図るため市民意識調査の満足度の平均評価点を指標として設定	50.6点 (平成22年度)	↗
		市民一人あたり年間図書貸出数	平成32年度では、市民一人あたり年間図書貸出数12冊を目指しています。	8.3冊	12冊
		地区公民館主催講座の年間受講者数	地域における生涯学習の活性化を測る指標として設定	48,028人	↗
R -6	すべての市民が「いつでも、どこでも、いつまでも」スポーツに親しむことができる、生涯スポーツ社会になっています	成人の週1回以上のスポーツ実施率	スポーツをする市民の数を増やすため市民意識調査の週1回以上のスポーツ実施率を指標として設定	33.6%	↗
		スポーツを親しめる環境の満足度 【市民意識調査】	スポーツを親しめる環境の満足の向上を図るため市民意識調査の満足度の平均評価点を指標として設定	52.9点 (平成22年度)	↗
		スポーツ活動の指導者数 (登録者数)	おおそ市民100人に1人の指導者をめざし設定	2,523人	3,500人

三田市			流山市			鶴ヶ島市		
指標名	現況値	目標値 H28	指標名	現状 H20	目標 H31	指標名	現状値 H22	目標値 H27
「近所の人に会ったときあいさつをしている」と答える子どもの割合	小6 89.3% 中3 81.0% (H22)	小6 90.0% 中3 84.0%	流山市内は、子どもたちが健やかに育つ環境が整っていると思う市民の割合	50.3% (H21)	60.0%	市民意識調査における「豊かな心を育む青少年の育成支援」に対する満足度	23.4%	25.0%
放課後子ども教室実施学校数・利用児童数(延べ)	8小学校 21,742人 (H23)	10小学校 25,200人	補導者数	430人	400人	「保護者や地域が担うべきこと」として、「PTAや地域の活動に参加すること」と回答する保護者の割合	13.3% (小学生) 10.8% (中学生) (H20年度実績)	15.0% (小学生) 15.0% (中学生)
「トライやる・ウィークは充実していた」と答える子どもの割合	87.7% (H23)	90%	子どもたちの健全育成活動を行っている市民の割合	15.1%	20.0%	「ジュニアリーダー養成講座(1)」参加者数	52名	60名
代表的な生涯学習施設(総合文化センター・ウッドタウン市民センター・中央公民館)の利用者数	405,043人 (H23)	457,000人	日ごろから何らかの学習活動(生涯学習)を行っている市民の割合	44.6% (H21)	50.0%	市民意識調査における「多様な学習機会の提供」に対する満足度	11.0%	13.0%
文化財施設入場者数	17,507人 (H23)	25,000人	流山市内は学びたいときに学べる環境(生涯学習の環境)が整っていると思う市民の割合	28.5% (H21)	50.0%	人口1人あたりの貸出点数	11.8冊	12.0冊
市内図書館の図書貸出冊数	1,229,030冊 (H23)	1,260,000冊	芸術・文化活動を行っている市民の割合	35.9%	50.0%	まちづくり市民講座(文化財関係)および体験学習などの受講者数	337人	800人
			市内の文化財数	38件	43件	市民意識調査における「文化・芸術活動への支援」に対する満足度	16.1%	20.0%
			流山市内(市周辺)は芸術・文化活動を行う環境が整っていると思う市民の割合	25.8% (H21)	40.0%			
スポーツクラブ21会員数の割合	12.28% (H23)	増加	継続的に運動・スポーツに取り組んでいる市民の割合	59.9%	65.0%	体育施設利用者数	159,242人	189,000人
週1回以上運動・スポーツをしている人の割合	36.8% (H23)	増加	スポーツで健康体力の維持・増進を行っている市民の割合	42.8%	50.0%	学校開放施設利用者数	249,801人	296,000人
						週1回以上スポーツをする市民の割合	31.5%	50.0%

基本計画に掲載する（検討中）指標・目標値一覧

ルート ベース	まちのイメージ	吹田市			
		指標名	目標値の考え方	平成23年度	目標値 平成32年度
R -1	限りあるエネルギーを大切に使う意識が定着しています	節エネ・省エネに関する具体的取組を行っている【市民意識調査】	節エネルギーの意識が根付き、ライフスタイルの転換が進んでいることを示す指標として設定。		↗
		吹田市域の家庭部門における年間エネルギー消費量(市民1人当たり)	節エネ・省エネ行動が日常生活で進んでいることを示す指標として設定。 (環境審議会で更に検討する予定)		
		吹田市域の業務部門におけるエネルギー消費量または公共施設での取組件数	検討中 (環境審議会で更に検討する予定)		
R -2	資源を大切に 社会システムが形成されています	市民1人当たりのごみ排出量(1日)	現況値(平成22年度)から17%削減。(吹田市一般廃棄物処理基本計画改訂版)	929g	787g
		ごみの焼却処理量(年間)	12種分別の徹底や集団回収を進めることで焼却処理量が減少することから、分別及びリサイクルの進み具合を測る指標として設定。	10万 3,802t	7万9,352t
		リサイクル率	破碎選別工場での資源化や集団回収の進み具合を測る指標として設定。各項目の目標値から算出した値。	16.7%	24.2%
R -3	健康で快適な暮らしを支える環境が保たれています	環境目標達成率 ・二酸化窒素 ・一般環境騒音 ・河川BOD	環境汚染を防止し、市民の健康を守るため、市が設定した環境目標値の達成度合いを示す指標として設定。	75% 80% 96.2%	100%
		環境美化推進重点地区	不特定多数の人が行きかう公共の場所等で環境美化に対する取組を示す指標として設定。	3地区	14地区
		ヒートアイランド対策に関する指標(未定)			
R -4	環境教育・環境学習の機会が充実しています				

基本計画に掲載する（検討中）指標・目標値一覧

ルート ベース	まちのイメージ	吹田市			
		指標名	目標値の考え方	平成23年度	目標値 平成32年度
R -1 と R -2 を 統合	(RV-1とRV-2の統合版) 暮らしを支える都市機能が充実した魅力あふれる都市が形成されています (旧RV-1)暮らしや都市活動を支える都市基盤整備が進んでいます (旧RV-2)魅力あふれる美しいまちなみと良好な住環境が形成されています	定住意向 【市民意識調査】		66.2% (平成22年度)	↗
		まちなみが美しいと感じる市民の割合 【市民意識調査】		57.2% (平成22年度)	↗
R -3	住みたいまちに選ばれる安心で良質な住まいづくりが進んでいます	借上型市営住宅管理戸数	吹田市住宅マスタープラン(吹田市住生活基本計画)による。	55戸	150戸
		新耐震基準を満たしている住宅の割合	住生活基本計画(全国計画)による。		95.0%
		定住意向 【市民意識調査】		66.2% (平成22年度)	70.0%
R -4	みどりが保全・創出・活用され、市民に親しまれています	緑あふれる未来リポーター制度登録団体	今後、普及・啓発を図り、登録団体数を増やす。	59団体	↗
		公園・緑地の利用しやすさの満足度 【市民意識調査】	公園緑地の利用しやすさの満足度の向上を目的として市民意識調査の平均評価点を指標に設定	60.0点 (平成22年度)	↗
R -5	自動車に過度に依存しない交通環境整備が進んでいます	コミュニティバス1便当たり乗車人員	補助席を含めた座席数が15席となっており、運行継続の基準の一つである乗率率が100%となる数値となるため	13.0人	15人
		鉄道バスなど公共交通網の便利さの満足度 【市民意識調査】		65.4点 (平成22年度)	↗
R -6	誰もが安全で快適な道路環境整備が進んでいます	生活関連経路等の整備率	バリアフリー法における平成32年度末までの目標値	34.0%	100%
		歩行者にとっての道路の安全性の満足度 【市民意識調査】	歩行者にとっての道路の安全性の満足度の向上を目的として、平均評価点を指標として設定	44.4点 (平成22年度)	↗
R -7	安定した安心安全の水道が利用できています	基幹管路の耐震化率	基幹管路(導送水管及び配水本管)の内、耐震化された管路の割合	29.9%	50.0%
		アンケートにみる水道水の安心度	お客さまアンケートによる水道水を安心して利用する比率	82.10%	(85.0%)
R -8	下水道施設が計画的に整備され安心安全快適な暮らしができています	10年確率降雨に対応した下水道雨水対策整備率	計画的に整備を進めている	50.4%	70%
		下水道の高度処理普及率	計画的に整備を進めている	45.7%	80.6%

三田市			流山市			鶴ヶ島市		
指標名	現況値	目標値 H28	指標名	現状 H20	目標 H31	指標名	現状値 H22	目標値 H27
違反広告物除却件数	307件 (H22)	280件	市街化区域のうち基盤整備の完了した面積	472.4ha	933.5ha	仮換地指定率(一本松土地区画整理事業地区)	74.6%	90.0%
景観計画策定区域面積	1,423ha (H22)	拡大	良好な市街地が形成・維持されていると感じている市民の割合	67.2%	78.2%	仮換地指定率(若葉駅西口土地区画整理事業地区)	78.9%	98.0%
			流山おおたかの森駅を中心とする計画に沿った活用がされている地域の面積	28.8ha	159.9ha	防火地域・準防火地域の指定率	11.3%	13.0%
			流山セントラルパーク駅を中心とする計画に沿った活用がされている地域の面積	8.7ha	94.5ha	地区計画制度の活用率(市街化区域)	36.1%	38.5%
			流山市は住み心地が良いまちであると思う市民の割合	75.1%	80.0%			
			自宅周辺の街並みや景観を誇りに思う市民の割合	51.3%	55.0%			
			地区計画の決定数	28箇所	35箇所			
			建築協定の決定数	9箇所	9箇所			
			環境の豊かさを実感している市民の割合	80.5%	83.0%			
住宅の耐震化率	90% (H19)	95%				住宅の耐震化率	78.9% (H21.4.1)	90.0%
一戸建ての新築住宅に占める長期優良住宅の割合	53% (H22)	現在値以上				建築物の完了検査率	93.5%	98.0%
さんだクリーンサポーターの登録者数	390人 (H23)	600人	市街地内CO2吸収源増加率	100%	200%	市民参加の緑化活動延参加者数	366人	570人
地域の緑化団体による緑化箇所数	153箇所 (H22)	増加	市内の緑に満足している市民の割合	80.5%	80.0%	緑地面積	403,579㎡	438,000㎡
自然環境の保全に関する市民満足度	3.52 (H21)	3.57以上	グリーンチェーン認定率	22.2%	80.0%	親水環境の向上のための新規整備数		2か所
						市民1人あたり都市公園面積	3.8㎡	4.0㎡
ノンステップバスの導入台数	37台 (H22)	43台	公共交通機関の利用について満足と感じている市民の割合	60.7%	75.0%	ノンステップバス導入率(市内を通過する6路線)	93.3% (H22.9)	100.00%
公共交通1日平均利用者数(神姫バス、阪急田園バス)	14,291人 (H22)	現状維持	ぐり-んバス利用者数	48万人	54万人	市民バスおよび乗合タクシー利用者数	128,267人	359,000人
			ぐり-んバス収支率	76.7%	80.0%			
交通事故による死傷者数	543人 (H23)	510	交通事故件数	2,901件	2,240件	都市計画道路の整備率	65.2%	68.0%
			快適に移動できる道路網の整備がされていると感じている市民の割合	54.4%	65.4%	歩道の整備延長	79.0km	80.0km
			道路施設等に対する処理件数	588件	370件	自転車通行帯の整備延長	1.1km	6.0km
水質基準不適合率	0% (H22)	0%	安全な水を安定的に供給されていると感じている市民の割合	84.0%	86.0%	配水池耐震施設率	15.5%	94.4%
水道事業会計の経常収支比率(経営収益/経営費用)	101.8% (H21)	108%	給水普及率	98.5%	98.6%			
上水道の有収率	96.74% (H22)	97%						
水洗化率	96.4% (H23)	97%	公共下水道普及率	69.5%	88.5%	鶴ヶ島市における下水道普及率	67.9%	77.0%
			水流化率	90.4%	95.0%			
			BOD濃度(生物化学的酸素要求量)(坂川、上富士川)	3.1mg/ℓ	2.0mg/ℓ			
			BOD濃度(生物化学的酸素要求量)(大堀川)	5.6mg/ℓ	3.0mg/ℓ			
			憩いの場として河川環境について満足している市民の割合	73.6%	80.0%			
			雨水幹線の整備延長	12.3km	16.4km			

基本計画に掲載する（検討中）指標・目標値一覧

ルート ベース	まちのイメージ	吹田市			
		指標名	目標値の考え方	平成23年度	目標値 平成32年度
R -1	防災への備えをはじめ危機管理体制が確立しています	災害に備えている市民の割合 【市民意識調査】	防災の基本である「自分の命は自分で守る」を浸透させ、市民一人ひとりが、災害に対して備えを行う。	23.8%	50.0%
		地震や水害などに対する防災の満足度 【市民意識調査】	地震や水害などに対する防災の重要度に満足度を近づける。	51.5点 (平成22年度)	78.8点
		地域防災リーダー養成講習受講者数	自主防災組織の中心的な役割を担う人材を増やす。(平成24年度から実施)		↗
R -2	犯罪が少なく安全で安心して過ごしています	治安が良いと感じる市民の割合 【市民意識調査】	市民の多くが、不安を感じることなく、生活できる状態にする。	42.0% (平成22年度)	50.0%
		防犯対策の満足度 【市民意識調査】	防犯対策の重要度に満足度を近づける。	49.6点 (平成22年度)	81.3点
		安心・安全まちづくり講習会受講者数	市民一人ひとりの防犯意識を向上させる。		
R -3	備えと予防ができており火事(や事故)が減っています	年間火災件数	直近の10年間を対象に算出した年間火災件数の平均値を基準とし、目標値を下方設定する	76件 (平成23年)	↘
		普通救命講習会等の受講者数	10才～65才までの人口の20%が10年間で普通救命講習等を受講すると仮定し、年間受講者数を5,000人と想定する	53,087人 (平成23年)	↗

三田市			流山市			鶴ヶ島市		
指標名	現況値	目標値 H28	指標名	現状 H20	目標 H31	指標名	現況値 H22	目標値 H27
地域防災訓練の実施率	35.2% (H22)	70%	自主防災組織の組織率	64.4%	70.0%	市民意識調査における「日ごろから防災対策を行っている」と答えた市民の割合	41.0%	70.0%
			防災備蓄量	49.3%	55.0%	自主防災組織設立済件数	25件	35件
			救急救命士充足率	43.0%	100%	住宅用火災警報器の普及率	63.8% (H22.6)	100%
						救命講習会受講者数(普通救命講習 + 上級救命講習)	980人	1,000人
防災防犯メールへの加入件数 (毎年4月)	10,153件 (H22)	18,000件	市内の犯罪件数	2,512件	2,200件	犯罪発生件数	1,220件	1,000件
刑法犯罪発生件数	1,055件 (H23)	1,000件	犯罪に関して市内(自宅周辺)は安全だと感じる市民の割合	49.0%	58.0%	防犯灯設置基数	4,220基	4,360基
火災件数	41件 (H22)	減少	住宅火災警報器設置率	36.5%	100%	市内における人身事故発生件数 (高速道路除く)	391件	350件
			市内の交通事故数(人身事故発生件数)	623件	600件	交通安全教室参加人数	4,210人	4,500人
			交通安全に関して市内(自宅周辺)は安全だと感じる市民の割合	48.1%	56.0%			

基本計画に掲載する（検討中）指標・目標値一覧

ルート ベース	まちのイメージ	吹田市			
		指標名	目標値の考え方	平成23年度	目標値 平成32年度
R -1	元気な企業が集積 しています	吹田市の開業率と廃業率	市内起業者の事業継続率を高め、事業所数を増加させるため	開業率 3.4% 廃業率 7.7% (平成21年度)	開業率が 廃業率を 上回る
		商店街・小売市場における空き店舗率	コミュニティの核となる商業地の活性化を測る一つの指標	10.1%	空き店舗 率の低下
		観光施設利用者数	市内主要施設の利用者数により市内外からの入込客数を図る指標	3,497,809 人 (平成22年度)	↗
R -2	いきいきと働きがい をもって就労できる 環境が整っています	JOBナビすいた、JOBカフェすいた就職者数	就職者数を前年比10%程度ずつ増加させる。平成24年度から、利用者を市内在住・在勤・在学に限定したため、平成23年度の就職者数789人に0.7をかけた数値579人を基準とする。	789人	1,250人
		吹田市勤労者福祉共済の被共済者数	市内事業所で働く労働者の福利厚生の充実を図る指標の1つ、平成23年度の数値を基準に、毎年、被共済者数を前年比10%程度ずつ増加させる。	2,141人	4,600人
R -3	安心して消費生活 を送れる環境が 整っています	消費生活相談件数における解決率	消費生活問題の解決率の向上を目指して、消費生活センターで受け付けた相談がどれだけ解決したかを率で設定したもの	97.4% (平成22年度)	100%
		消費生活センターの業務の認知度	消費者保護を推進するため、身近な消費生活相談の場である消費生活センターの認知度を率で設定したもの		↗
		消費者の利益と安全確保に関する満足度の平均評価点 【市民意識調査】	消費者の利益と安全の確保に関する満足度の向上を目標として、満足度の平均評価点を指標として設定	47.2% (平成22年度)	↗

基本計画に掲載する（検討中）指標・目標値一覧

ルート ベース	まちのイメージ	吹田市			
		指標名	目標値の考え方	平成23年度	目標値 平成32年度
B -1	地域の特性が生かされた市民主体のまちづくりの仕組みを構築します	新たな地域組織の組織率	平成27年度からモデル実施を予定しており、その検証を経なければ、具体的な指標の設定が難しい。	0%	↗
		施設の利用者数	全施設の延べ利用者数	904,598人	↗
B -2	市民公益活動を支える環境づくりや多様な主体による協働のまちづくりの仕組みを構築します	市民公益活動団体数	活動が活発で、団体数も着実に増加している。	297	↗
B -3	多様な市民の意向が反映される市政運営の仕組みを充実させます	審議会等における公募市民委員の割合	公募市民委員の割合を増やす。		8%
		市政情報満足度 【市民意識調査】	市が発信する情報に満足している市民の割合	34.9% (平成22年度)	50%
B -1	安定した行財政運営を進めます	全施策の満足度評価の平均評価点 【市民意識調査】	政策全般における市民満足度の向上を目標とし、満足度の平均評価点を指標として設定	53.5点 (平成22年度)	↗
		人口千人あたりの職員数 (普通会計)	職員配置の適正化を測る指標として設定	6.65人	↘
		経常収支比率	時代の変化に応える財政基盤として財政構造の弾力性を測る指標として設定	102.9% (平成22年度)	95%以下
B -2	環境の変化にも柔軟に即応し効果的な行政経営を担う人材を育成します	研修受講者数(延人数)	チャレンジする職員が成果を上げられるよう、職務遂行能力の開発向上する職員を支援するため研修受講者数を増やす。	13,437人	↗
B -3	良好な施設機能の安定的な提供とインフラの維持保全を計画的に行います	公共施設の利用しやすさの満足度平均評価点 【市民意識調査】	公共施設の利用に関する満足度の向上(安全性を含む)	50.4点 (平成22年度)	↗
B -4	利便性の向上が図られたサービスを提供します	市役所等以外での証明書の発行可能箇所数	当該指標の値が大きいくほど、市民の利便性向上が期待できます。	0	↗
		行政サービス利用可能時間	当該指標の値が大きいくほど、市民の利便性向上が期待できます。	約40時間/週	115.5時間/週

